

告知 平成28年度 ブロック大会開催に向けて

北海道・東北ブロック 開催地: 秋田県支部

新緑の温泉郷 歴史のまち 鹿角で

- ◆平成28年6月9日(木)
- ◆参加予定 約350名
- ◆大湯温泉「ホテル鹿角」



阿部会長

今大会は秋田県鹿角市にて開催いたします。食の安全・安心に取り組む食品衛生協会の会員が一同に会し諸事業への取組みや抱えている問題について意見交換や情報交換を行い、有意義な大会となるよう努めます。心よりお待ちしております。

関東・甲信越ブロック 開催地: さいたま市支部

鉄道・盆栽・人形のまち、さいたま市へ

- ◆平成28年7月21日(木)
- ◆参加予定 約250名
- ◆パレスホテル大宮



矢作会長

さいたま市は古くから鉄道のまちとして商業が栄え、近年では大型ショッピングセンターや外国人個人営業施設等も多く、会員獲得や食品衛生管理の指導において多様化が必要とされております。大会では相互の親睦をはかり、友好を深める会となるよう努めてまいります。ご参加をお待ちしております。

東海・北陸ブロック 開催地: 富山県支部

北陸新幹線開通 ようこそ富山へ

- ◆平成28年6月3日(金)
- ◆参加予定 約300名
- ◆オクスカナルパークホテル富山



鹿熊会長

食の安全・安心に向けての取組みや、五つ星事業・手洗いマイスター等の指導員活動等についての情報・意見交換の場として有意義な大会となるよう努めてまいります。日本海越しに眺める立山連邦と、「天然の生簀」富山湾の豊富な味覚が、多くの会員の皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

近畿ブロック 開催地: 滋賀県支部

食と史跡の魅力いっぱい 近江へ

- ◆平成28年7月7日(木)
- ◆参加予定 約200名
- ◆琵琶湖ホテル



松居会長

本大会は、豊かな「自然」と文化遺産と歴史のまち、湖都「大津」で開催します。

食の安全・安心がさらに求められるなか、各支部で食への信頼確保に向けてさまざまな事業を取り組まれている方々の意見、情報の交換の場として有意義な大会となりますよう努めてまいります。多くの皆さまのご参加を近江米や湖魚、近江牛を準備して心よりお待ちしております。

中・四国ブロック 開催地: 広島市支部

水の都ひろしまへ みなさんさい!

- ◆平成28年7月12日(火)
- ◆参加予定 約700名
- ◆リーガロイヤルホテル広島



大谷会長

今大会は、暑い時期の開催となりますが、協会員相互の情報交換と日食協の諸事業の推進強化が図られて有意義な大会になりますよう、また、「厚いおもてなし」ができますよう準備を進めております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

九州ブロック 開催地: 宮崎県支部

ようこそ「日本のひなた宮崎県」へ

- ◆平成28年5月13日(金)
- ◆参加予定 約1,500名
- ◆シーガイア コンベンションセンター



黒木会長

今大会では、保健所の食品衛生監視員を講師に招き、「食協・消費者・行政との協働」についての講演会を実施し、今後の食協の果たすべき役割について情報を共有し、意義ある大会となるよう努めてまいります。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

CONTENTS

- 平成28年度 ブロック大会開催に向けて 1
- 第3回衛生管理推進委員会/第3回普及啓発事業委員会開催 2
- 食鳥処理衛生管理者登録講習会開催/
平成28年度食品衛生研究所実習研修開催予定 3
- 「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業支部・支所取組み一覧 4
- 団体傷害保険制度における保険金支払い状況/
「異臭クレーム対応のための官能評価講習会(基礎編)」開催! 5
- 共済金支払状況 6
- (広告) 7
- 出版インフォメーション 8

報告

第3回衛生管理推進委員会

活発な議論が展開、平成28年度重点指導項目決定

事業者の自主衛生管理を推進するため、食品衛生指導員の資質の向上ならびに食中毒等による健康被害の防止にかかわる事業の推進を目的に、衛生管理推進委員会を1月29日(金)午後1時30分より食品衛生センター5階講堂にて開催いたしました。

本委員会は昨年10月1日に改選された委員による最初の委員会であることから、北島委員長(佐賀県支部長)、鳥山副委員長(群馬県支部長)、市川副委員長(新潟県支部副支部長)を選任し、委員長により議事が進められました。

協議事項では、手洗いマイスター認定講習会と食品衛生指導員全国研修会の今後の実施方法について意見交換され、平成28年度は手洗いマイスターの養成を優先的に実施するため支部での認定講習会を活発に実施いただく方策を日食協での検討課題とすることになりました。

また、HACCPによる衛生管理の普及について、各支部でのHACCPの普及推進状況についてご意見をいただき、HACCP指導者の実質的な活用のため食品衛生管理士制度を見直し、HACCPを導入する



手洗いマイスター養成について意見続出

施設に対し指導・助言できる仕組みを整備し、今後は具体的料金設定等を構築し進めていくことといたしました。

なお、平成28年度の重点指導項目につきましては本委員会では以下のとおり決定しました。

【平成28年度重点指導項目】

- 食の安全は 原材料のチェックから
(指導区分：原材料の衛生管理)
- その記録が わが身もまもる
(指導区分：自主管理票の記録状況の確認)

(公益事業部事業課 岡本 愛)



北島委員長

報告

第3回普及啓発事業委員会開催

2月12日(金)午後1時30分より、食品衛生センター5階講堂において、消費者ならびに食品等事業者への情報配信事業の強化を目的とした第3回普及啓発事業委員会を開催いたしました。今回は新委員が委嘱されて初めての開催となるため、委員長に萩谷委員(茨城県支部長)、副委員長に池谷委員(川崎市支部長)、佐久本委員(沖縄県支部長)を選任し、萩谷委員長を議長として議事が進められました。

協議事項としては、販売部数の減少傾向が続いている月刊「食と健康」について、食品衛生指導員の必読書として充実した内容を掲載している本誌をより多くの食品衛生指導員に読んでいただくための方策について活発な議論がかわされました。また、給食施設、介護施設等へも販路を拡大すべきではという提案のほか、本誌の普及推進に努めていただいている特別普及推進支部の現状や、今後のあり方についてご意見をいただきました。

また、「食品衛生月間」、「ノロウイルス食中毒予防



活発な議論が続く

強化期間」の活性化策として、各支部で実際に効果を上げている取組みについて、各委員からご紹介いただきました。

なお、日食協頒布品として好評をいただいている手洗いチェッカーの価格を下げられないかという提案については、日食協で協議を進めることになりました。

本委員会での活発な意見交換を今後の出版物等発行をはじめとした日食協からの情報発信に役立ててまいります。(公益事業部 西村 太郎)



萩谷委員長

報告

食鳥処理衛生管理者 登録講習会 開催

日食協ほか2団体主催により「平成27年度食鳥処理衛生管理者の登録講習会」を平成28年1月19日(火)～21日(木)の3日間、岩手県支部にご協力いただき、アイーナいわて県民情報交流センターにて開催いたしました。

前日からの雪の影響で、やむなくキャンセルの方もいらっしゃいましたが、「食鳥処理の事業の規制及び食鳥検査に関する法律」で定められた科目の講義を受講され、全国から128名が参加し、全員が修了いたしました。今後、食鳥処理衛生管理者としてのご活躍を祈るばかりです。また、窓口等ご協力いただきました岩手県支部へ感謝申し上げます。

なお、本登録講習会については、

沖縄県支部も単独で沖縄県の登録を受け、平成28年1月20日(水)、26日(火)～27日(水)の日程で開催し、38名が過程を修了されました。

(公益事業部事業課 吉田 裕一)



熱心に講義を聴く受講生(岩手会場)

告知 平成28年度 食品衛生研究所 実習研修開催予定

食品衛生研究所では、食品の検査や品質管理の業務に携わる方が対象に、知識や検査技術の習得・向上を支援する実習研修事業を行っています。いずれの研修会も各分野の第一人者を講師に迎え、実習を中心とした内容となるよう計画しております。

平成28年度につきましては、新しい企画を含めて15回の研修会開催を予定しており、各研修会の詳細は決定次第随時ホームページ等でお知らせいたしますので、ぜひご確認ください。

開催日	研修会名	募集人数
4/13(水)、14(木)	食品汚染カビ検査実習(基礎2日間コース)	24
4/22(金)	理化学試験の基礎実技研修	24
5/20(金)	異臭クレーム対応のための官能評価講習会(基礎編)	36
6/9(木)、10(金)	食品微生物検査実習(基礎2日間コース)	24
6/21(火)	食品製造の現場における異物混入防止対策講習会	40
7月上旬	食物アレルギー検査実習(基礎1日間コース)	30
10/4(火)	異臭対策実習研修会(新規企画・仮称)	調整中
10月中旬以降	食品微生物検査実習((黄色ぶどう球菌)新規企画・仮称)	調整中
10/14(金)	異物対策実習研修会(新規企画・仮称)	調整中
11月上旬	栄養成分検査の基礎と精度管理実習(新規企画・仮称)	調整中
11/9(水)、10(木)	食品汚染カビ検査実習(基礎2日間コース)	24
11/25(金)	理化学試験の基礎実技研修	24
1/25(水)	異臭クレーム対応のための官能評価講習会(基礎編)	36
2/17(金)	食品製造の現場における異物混入防止対策講習会	40
2/23(木)、24(金)	食品微生物検査実習(基礎2日間コース)	24

※上記の一部に、カリキュラムおよび定員等調整中のものが含まれておりますが、詳細が決まり次第随時更新してまいります。

お問い合わせ先：食品衛生研究所 検査事業部管理課

TEL 042-789-0212 HP <http://www.n-shokuei.jp/houjin/laboratory/>

報告「ノロウイルス食中毒予防強化期間」事業 支部・支所 取組み一覧

本年度も標記事業にご協力いただきましてありがとうございました。全国55支部355会場で約49,000人の参加者(申請時予定)に、手洗い教室や汚物処理教室、ノロウイルスについての各種講習会等を開催していただきました。今月号より支部・支所順で取組みについてご紹介してまいります。(公益事業部事業課)

支部名	開催日	支部・支所	参加者数	参加費	講師
北海道	11/2	遠軽地方支所	70	無料	篠原真理子氏
	11/10	帯広地方支所	40	無料	堀越澄子氏(手洗いマイスター)
	11/17	小樽支所	85	無料	小樽保健所 花房裕輔氏
青森県	10/27	下北支所	54	1,000円	むつ保健所 主幹 佐々木亮太郎氏
	11/11	十和田支所	112	1,000円	上十三保健所 主査 南勲氏
	11/12	八戸支所	84	1,000円	八戸保健所 主幹 西村秀太郎氏
	11/13	弘前支所	75	1,000円	弘前保健所 山口美由紀氏、根橋香織氏
	11/17	青森支所	135	1,000円	青森市保健所 主幹 山口真氏
	11/19	北五支所	58	1,000円	五所川原保健所 課長 濱谷和也氏
	11/27	三沢支所	100	1,000円	-
	11/20	南黒支所	64	1,000円	弘前保健所 桜庭秀人氏、吉野民子氏
	岩手県	11/2	県央支所	141	無料
11/4		県央支所	無料		
11/5		県央支所	無料		
11/9		県央支所	無料		
11/12		県央支所	無料		
11/16		県央支所	無料		
11/25		県央支所	無料		
11/20		岩手支所	121	無料	県中保健所 千葉上席獣医師、県央支会長 佐藤詩夫氏
11/25	岩手県支部	60	無料	東京サラヤ(株)佐藤陽美氏、岩手県県民くらしの安全課 遠藤裕美氏	
宮城県	11/4	塩釜支所	64	無料	宮城県保健環境センター 木村俊介氏
	11/6	大崎支所	99	無料	大崎保健所 小野寺瑞穂氏
	11/20	宮城県支部	94	無料	日食協 学術顧問 丸山務氏
秋田県	12/11	鹿角支所	60	無料	大館保健所職員、食品衛生指導員
	12/21	鹿角支所	60	無料	大館保健所職員、食品衛生指導員
	10/1~11/4	北秋田支所	72	無料	北秋田保健所職員、食品衛生指導員
	11月~12月	北秋田支所	63	無料	食品衛生指導員
	10/29	秋田中央支所	105	無料	食品衛生指導員
	11/26	秋田中央支所	97	無料	食品衛生指導員
	11/24	角館支所	40	無料	食品衛生指導員
	10/24、25	大曲支所	223	無料	大仙保健所員、食品衛生指導員
	11/18	大曲支所	85	無料	大仙保健所員、食品衛生指導員
	12/9	大曲支所	173	無料	大仙保健所員、食品衛生指導員
	11/4	横手支所	41	無料	横手保健所員、食品衛生指導員
	11/19	横手支所	55	無料	横手保健所員、食品衛生指導員
	10/19	湯沢雄勝支所	85	無料	湯沢保健所員、食品衛生指導員
10/29	湯沢雄勝支所	70	無料	湯沢保健所員、食品衛生指導員	
11/19	湯沢雄勝支所	100	無料	湯沢保健所員、食品衛生指導員	
山形県	11/27	新庄地区支所	65	無料	最上保健所 三浦主任獣医師
	12/7	酒田地区支所	48	無料	庄内保健所 佐々木食品衛生主査
	12/7	山形地区支所	160	無料	村山保健所 三浦食品衛生専門員
福島県	10/27	福島県北支所	155	一般1,000円 会員 500円	日食協 技術参与 高谷幸氏、県北保健福祉事務所 松崎栄子氏
	10/20	郡山支所	275	無料	国立感染症研究所 第一室長 片山和彦氏
	11/26	県中支所	132	1,000円	県中保健福祉事務所 主任主査 鈴木和則氏
	12/4	県南支所	112	無料	イオンリテール(株)東北カンパニー担当者
	11/26	会津支所	65	無料	会津保健福祉事務所 阿部雄一氏、会津保健福祉事務所 川島眞澄氏
	12/2	いわき支所	116	無料	いわき市保健所 係長 丹内健司氏、東京サラヤ(株)仙台営業所 斎藤磨里恵氏
	10/29	福島県支部	202	2,000円	国立医薬品食品衛生研究所 第四室長 野田衛氏、東京サラヤ(株)仙台営業所 斎藤磨里恵氏
茨城県	11/6	茨城県支部	68	無料	村山専務理事、東京サラヤ(株)本吉インストラクター
	11/18	茨城県支部	82	無料	村山専務理事、東京サラヤ(株)井上インストラクター
	11/26	茨城県支部	74	無料	村山専務理事、東京サラヤ(株)本吉インストラクター
	12/9	茨城県支部	75	無料	村山専務理事
栃木県	2/8	宇都宮支所	159	無料	五十君静信氏、山下千恵氏
	11/24	今市支所	104	無料	今市健康福祉センター 主査 橋本大樹氏
	11/23	真岡支所	270	無料	福田部長補佐、内藤副主幹、高橋指導員
	11/8	小山支所	200	無料	食品衛生指導員
10/14	大田原支所	128	無料	人見ともみ氏	
群馬県	11/26	桐生支所	99	無料	東部保健福祉事務所 伊藤昌司氏、衛生環境研究所 塩野雅孝氏
	12/7	館林支所	103	無料	東部保健福祉事務所 伊藤昌司氏、衛生環境研究所 塩野雅孝氏
	12/16	太田支所	97	無料	東部保健福祉事務所 伊藤昌司氏、衛生環境研究所 塩野雅孝氏

団体傷害保険制度における保険金支払い状況

団体傷害保険制度〈団体総合生活補償保険（標準型）〉につきましては、2015年7月より賠償共済の加入者証に団体傷害保険制度に関するチラシを同封させていただいており、現在会員（組合員）様より毎日のようにお問い合わせをいただいております。そこで、今回は今年度の団体傷害保険制度における保険金支払い状況をご案内させていただきます。

○2015年度保険金支払い状況 (2015年9月～12月末現在)

- ① 総支払い件数 6件
 - ② 総支払い保険金 約64万円
 - ③ おもな事故状況
 - ・業務中にストーブで足首を火傷
 - ・作業中にナイフ・包丁で手を切った
 - ・バイク搭乗中に追突被害事故に遭い足を骨折
 - ・自動車運転中に追突被害事故に遭い負傷
 - ・作業中に魚の骨が指に刺さり化膿
- ※実際にお支払いしている保険金は1事故あたり数万円～数十万円となっております。

左記お支払い事例でご確認いただけるとおり、作業中の不注意による事故や、自動車・バイクに搭乗している際のもらい事故が多く発生しております。また、これらの事故は会員（組合員）の皆さまの誰にでも起こり得る事故です。

本制度は、団体割引により非常にご加入いただきやすい保険料となっており、また、年齢制限もありませんので、皆さま^{注意}お気軽にご加入いただけます。従業員の業務上のケガの補償に関する保険にご興味のある会員の方がいらっしゃいましたら、ぜひ団体傷害保険制度をご案内ください。

注意 「団体傷害保険制度」は日本食品衛生共済協同組合が契約者となる団体契約のため、ご加入の際には同組合員である必要がありますのでご注意ください。

三井住友海上火災保険株式会社
広域法人部営業第一課

こちろ
食品衛生研究所

「異臭クレーム対応のための官能評価講習会(基礎編)」開催!

1月29日(金)に食品衛生研究所 技術研修室にて「異臭クレーム対応のための官能評価講習会(基礎編)」が開催されました。本研修も今回で4回目の開催となりましたが、定員を超える応募があり、異臭問題に対する関心の高さが伺えました。

まず、当協会 佐藤技術参与より実際に発生した事例紹介、現場における異臭苦情の対応や再発防止等についての講義がなされました。さらに大和サービス株式会社加藤様、平井様を講師に迎えての実習では、用意されたにおいサンプルを参加者が体験しながら、説明を受けられました。

実習では、においの元となる成分が水や緑茶、コーヒー、ジュースといった実際の飲料中に含まれた場合にどのように感じるかといった体験や、用意されたサンプルをにおいの強い順に並べることができる人を選ぶ『パネル選定法』などに興味津々で取り組んでいる様子が見られました。

参加された方がたからは「実際の経験をもとにした講義で説得力があり参考となった」「実際に数多く

のにおいサンプルを体験する機会はなかなかなく、勉強になった」「社内トレーニングに役立てたい」といった声をいただきました。

来年度は、官能評価実習に加え、新たに機器によるにおい分析を盛り込んだ実技研修会も企画しておりますので、ぜひご参加ください。

☆平成28年度開催予定の実習研修については3ページをご覧ください。

(化学試験部 竹内 文恵)



においサンプルを体験する参加者の方がた

カンピロバクターによる高額支払い！！ギランバレー症候群発症

「あんしんフード君」・「食品営業賠償共済」 共済金の支払い状況

支払い日(2016.1.1～1.31抜粋)

原因物質等	事故発生日	支部名	支所名	業種名	年間掛金(円)	事故の概況	被害者数	共済金額(円)
					休業掛金(円)			
カンピロバクター	2014.5.29	長野県	北 信	飲食店	9,000	提供した料理による食中毒。被害者1名はギランバレー症候群にかかり長期入院となった。 (あんしんフード君)	2	賠：3,355,000
	2015.8.21	山形県	東南置賜	すし飲食店	4,200 600	提供したとりわさびによる食中毒。	11	賠：182,112
	2015.4.28	香川県	東 讃	飲食店	9,000	提供した料理による食中毒。費用補償にて見舞金および食事代の返金あり。 (あんしんフード君)	7	賠：98,406 被：40,000 生：89,330
アニサキス	2014.2.25	新潟県	新潟市	すし	88,500	提供したサバの寿司によるアニサキス食中毒。 (あんしんフード君)	1	賠：33,122
	2015.11.10	新潟県	新潟市	すし飲食店	94,300 68,000	提供した寿司によるアニサキス食中毒。	1	賠：120,860
ノロウイルス	2015.10.17	千葉県	松 尾	旅館飲食店	53,200	提供したカキによるノロウイルス食中毒。 (あんしんフード君)	18	賠：856,669
	2015.4.23	新潟県	村 上	仕出し・弁当	22,400 13,300	提供した仕出し弁当によるノロウイルス食中毒。	83	賠：1,220,143
	2015.11.8	山口県	周 南	飲食店	9,000 1,700	提供した料理による食中毒。費用補償にて菓子折代金および消毒費用、食事代返金の支払いあり。 (あんしんフード君)	12	賠：340,092 被：11,600 消：99,318 生：35,640
	2015.12.19	香川県	高 松	飲食店	9,000	提供した料理によるノロウイルス食中毒。費用補償にて見舞金および飲食代の返金あり。 (あんしんフード君)	11	賠：312,180 被：55,000 生：56,160
異物混入	2015.11.13	新潟県	新発田地区	仕出し・弁当	310,200 368,700	提供した肉豆腐のなかに骨が混入しており、喫食したお客の口内を負傷させた。	1	賠：22,949
	2015.2.6	石川県	加 賀	食品製造業	31,100 10,100	提供した和菓子に異物が混入しており、喫食したお客の歯を欠損させた。感謝料および休業補償を17日分支払う。	1	賠：492,858
施設賠償事故	2015.11.18	秋田県	秋 田	飲食店	165,300	従業員が誤って醤油差しを倒し、お客の衣服を汚損させた。 (あんしんフード君)	—	施：35,894
	2015.10.1	千葉県	木更津	飲食店	9,000	フェンスの亚克力板が強風で飛ばされ、隣家の車両に当たり破損させた。 (あんしんフード君)	—	施：515,068
	2015.12.30	新潟県	南魚沼	旅館	10,200 1,100	施設屋根からの落雪によりお客の車両を破損させた。 (あんしんフード君)	—	施：138,635
	2015.10.30	静岡県	富士宮	仕出し・弁当 食品販売業 食品製造業	107,400	商品を搬入している際に台車を誘導灯にあててしまい、誘導灯を破損させた。 (あんしんフード君)	—	施：47,520
	2015.12.23	宮崎県	都 城	仕出し・弁当 飲食店	11,000	従業員がお客にペンを渡す際にペンを振ったところインクが飛散し、お客の衣服および靴を汚損させた。 (あんしんフード君)	—	施：15,400
	2015.12.2	北九州市	小倉北	飲食店	16,400 2,900	従業員が誤って醤油をこぼし、椅子に掛けていたお客のコートとバッグを汚損した。 (あんしんフード君)	—	施：75,605
受託物賠償事故	2016.1.9	福井県	坂 井	飲食店	16,400	店舗内でお客の靴が盗難にあった。 (あんしんフード君)	—	受：11,000
	2015.12.1	滋賀県	草 津	飲食店	9,000	店舗内でお客の靴が盗難にあった。 (あんしんフード君)	—	受：20,273

※太字の箇所は共済金が100万円を超えるもの。

賠：生産物賠償金、施：施設賠償金、受：受託物賠償金
被：被害者治療費等、消：消毒費用、生：生産物自体の損害

今回ご紹介する事故は、店舗で食事をした2名がカンピロバクターによる食中毒の被害にあい、内1名がギランバレー症候群を発症した事例です。ギランバレー症候群は、おもに四肢筋力の低下をまねく等、筋肉を動かす運動神経が障害される病気です。本件はすでに、平成26年11月に共済金1,302,001円(内訳 治療費：1,150,046円、感謝料：10,500円、休業補償金：24,000円、特別費用：118,455円、免責金額：1,000円)をお支払いしており、今回の支払いはギランバレー症候群発症者への感謝料：1,840,000円、休業補償金：1,210,000円および特別費用：305,000円の追加支払いです。平成27年12月現在でも被害者は通院を余儀なくされ、本件はいまだ和解解決には至っておりません。このように食中毒は被害者を長期間にわたり苦しめるケースもあります。会員の皆さまへは食中毒の予防はもちろんのこと、万が一の事故の際の高額な賠償請求により経営不振に陥らぬための備えとして「あんしんフード君」へのご加入をお勧めください。

～有期雇用社員の働きがい向上につながる取り組みが評価～
「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」優良賞を受賞

三井住友海上火災保険株式会社 VOL.146
 広域法人部営業第一課

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社(社長:柄澤 康喜)は、今般、厚生労働省が主催する「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」において優良賞を受賞しました。

本表彰制度は、受賞企業の取り組みを先進事例として広く発信し、今後の日本の労働力を支える主婦層の就業環境整備を推進することを目的に創設されたもので、第1回目となる今回は、当社を含む19社が受賞しています。

当社は、有期雇用社員(名称:スタッフ社員)にも無期雇用社員と同様に、人事考課結果を反映した昇給、社員区分転換などの人事制度を適用し、社員の働きがいや生産性の向上に繋がっている点が評価され、受賞に至りました。

三井住友海上は今後も、すべての社員がやりがいを感じられる職場環境の整備を通じて、企業価値向上と持続的成長の実現を目指します。

1. 「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」の概要

パートタイム労働者の活躍推進を積極的に進める企業を表彰する制度として、厚生労働省により創設されました。パートタイム労働者の働きや貢献に見合う待遇を推進し、いきいきと働ける職場環境を整備する企業の取り組みを広く周知することで、他企業における就業環境整備を推進しています。



パートタイム労働者活躍推進企業
シンボルマーク

修)のほか、e-learning、通信講座受講料補助など、多様な教育プログラムを提供するとともに、部署内の指導担当者がスキルの習得度を確認することで、スタッフ社員の能力開発を支援します。

(3)柔軟な労働条件の変更が可能

配偶者の転勤に伴う勤務地の変更など、個人の事情に応じた労働条件の変更が可能です。

(4)キャリアアップを支援する制度を整備

スタッフ社員の教育等を担うリーダー職への登用や、無期雇用社員への社員区分転換など、キャリアアップを推進する制度を整備することで、働きがいの向上に繋がっています。

2. 当社の主な受賞理由

(1)人事考課結果を時給に反映

無期雇用社員と同様に、スタッフ社員も年間の業務目標を設定し、その進捗状況等について上司と年3回(年初・中間・期末)の面談を行います。目標の達成度合は人事考課として評価され、その結果が翌年度の時給に反映されます。

(2)多様な教育プログラムで能力開発を支援

入社時に基本的なビジネススキルを学ぶ「ベーシック研修」や保険商品の知識等を習得する「ステップアップ研

3. 「スタッフ社員」について

時給制の有期雇用社員として、約5,300名のスタッフ社員が在籍しています。そのうち約4,300名が週4日10時～16時のパートタイム、約1,000名が週5日9時～17時のフルタイムで勤務しており、主に定型化・標準化された業務を担当しています。

ジブラルタ生命は、食協生命共済保険取扱会社です。

ジブラルタ生命保険株式会社 VOL.146

**リタイアメントライフの資金は、
『資金三分法』で**

生涯を通じて必要な資金を、
と一緒に考えてみませんか。

老後の貯え

いくら取っておけばいいの?
いくら使っていいの?

使えるお金が少なくなってしまうませんか?

将来予想される不安要素を明確にしたり、資金を目的別に整理することで、
安心してお金が使えるようになります。

つかう
(つかえる)

そなえる

のこす



ジブラルタ生命保険株式会社: 本社/〒100-8953東京都千代田区永田町2-13-10
 コールセンター: TEL 0120-37 (ミナ)-2269 (ジブロック)

出版

INFORMATION

担当:能澤友佳

E-mail:nozawa@jfha.or.jp

新刊

平成28年度重点指導項目より“その記録が わが身もまもる”

食品衛生教育シリーズ

たいせつな衛生管理の記録

記録の必要性や正しい記録のつけ方がわからずに困っていませんか？食品等事業者は、食品衛生上の危害防止のために必要な記録とその保存が求められています。記録を確認することでトラブルを未然に防げたり、起きたトラブル解決に記録が役立つこともあります。また、今後HACCPの普及に伴い、記録とその保存はますます重要な事項となります。これを機に、改めて記録についての理解を深めるためにも、ぜひ本書をご活用ください。

◆主な掲載項目◆

- 第1章 なぜ記録が必要なの？
- 第2章 何を記録するの？
- 第3章 どうやって記録するの？
- 第4章 記録の注意点とアドバイス
- 第5章 継続して記録をつけることのたいせつさ

*内容は一部変更する場合があります

- 体裁 A5判 24ページ
- 定価 308円 (税込)
- 発刊 2016年3月(予定)

※送料は1回のご注文が3,000円以上
→送料サービス。
3,000円未満は一律300円(ただし、
送付先が1カ所の場合に限ります)



汚物の処理対策関連頒布品

《汚物の処理ツールBOX》

感染リスクの疑いのある汚物(嘔吐物、排泄物など)を処理する際に必要なツールが揃っています。すばやく安全に処理できます

＜セット内容＞

- ◆汚物の処理キット【別売あり】…1袋
- ◆外装ケース ……1個
- ◆調製ボトル ……1本
- ◆次亜塩素酸
ナトリウム液250mL ……1本
- ◆カップ&ノズル ……1セット
- ◆調製ボトル用シール ……1シート

- ◆嘔吐物凝固処理剤
カタツケ隊25g ……2袋
- ◆紙ヘラ ……2枚
- ◆紙製チリトリ ……2枚

定価(税込) 5,022円
→ 頒布価格(税込) **3,132円**
※送料：2箱まで500円、3箱以上は無料



《汚物の処理キット》

汚物の処理時の標準予防策を考え、必要な1人分のツールをまとめました

＜セット内容＞

- ◆使い捨て手袋 ……2双(4枚)
- ◆使い捨てガウン ……1枚
- ◆使い捨てマスク ……1枚
- ◆使い捨てシューズカバー ……1足(2枚)
- ◆ポリ袋(回収袋) ……2枚
- ◆ペーパータオル ……20枚
- ◆マニュアルカード ……1枚

【12セット】
定価(税込) 7,387円
→ 頒布価格(税込) **4,536円**
※送料：無料

【6セット】
定価(税込) 3,693円
→ 頒布価格(税込) **2,268円**
※送料：500円



3月号の内容

食と健康 食品衛生研究

■月刊「食と健康」-3月号予告-

特集1 知っておきたい機能性表示食品制度

昨年4月にスタートした機能性表示食品制度についての解説と、事業者が届け出る手順のほか今後の制度の見直し等について紹介。

特集2 日本人の食事摂取基準の改定

食事による栄養摂取量の基準を示した「日本人の食事摂取基準」について、2015年に改定されたポイントを解説。

■月刊「食品衛生研究」-3月号予告-

- ◆食育基本法における食の安全・安心の位置付け
- ◆食品由来疾患におけるDALYs(障害調整生存年)について

- ◆ヒラメのクドア・セブテンブクタータに係る食品健康影響評価について
- ◆いわゆる「健康食品」に関する報告書およびメッセージについて

定期購読・書籍のご注文、お問い合わせは 公益社団法人日本食品衛生協会 公益事業部推進課まで
TEL 03-3403-2114 FAX 03-3403-2384 メールアドレス fukyuuka@jfha.or.jp

編集後記

花粉症の方にとっては辛い季節かもしれませんが、春の訪れには心が弾みます。年度末で慌ただしいですが、よい新年度をスタートできるよう気を引き締めてまいりたいと思います。季節の変わり目ですのでご自愛ください。(竹内)